

3. 河川整備計画の目標に関する事項

3.1 河川整備の基本理念

「豊かな自然環境の中で、地域との協働により安全で安心して暮らせる川づくりを行い、自然と地域文化を育む番匠川を未来に継承する」を河川整備の基本理念とします。

今後の番匠川の川づくりについては、次の3つの方針に基づき地域住民や関係機関と連携を図りながら推進するものとします。

安全で安心して暮らせる川づくり

治水の整備目標に対する施設整備を推進すると同時に、計画規模を上回る洪水等に対しても被害を最小限に抑えるための防災体制の充実を目指します。

清らかな水を引き継ぐ川づくり

流域全体で一体となって、流水の清潔の保持を目指します。

自然や生物と共生し、新たな文化の創造と地域と一体となった川づくり

豊かな自然や生態系に配慮した川づくりや川にまつわる歴史や文化が継承される川を保持するとともに、まちおこしや地域づくりと一体となった川づくりを目指します。

3.2 河川整備計画の対象区間

本計画では、下記の図3.2.1、表3.2.1～表3.2.4に示す対象区間とします。

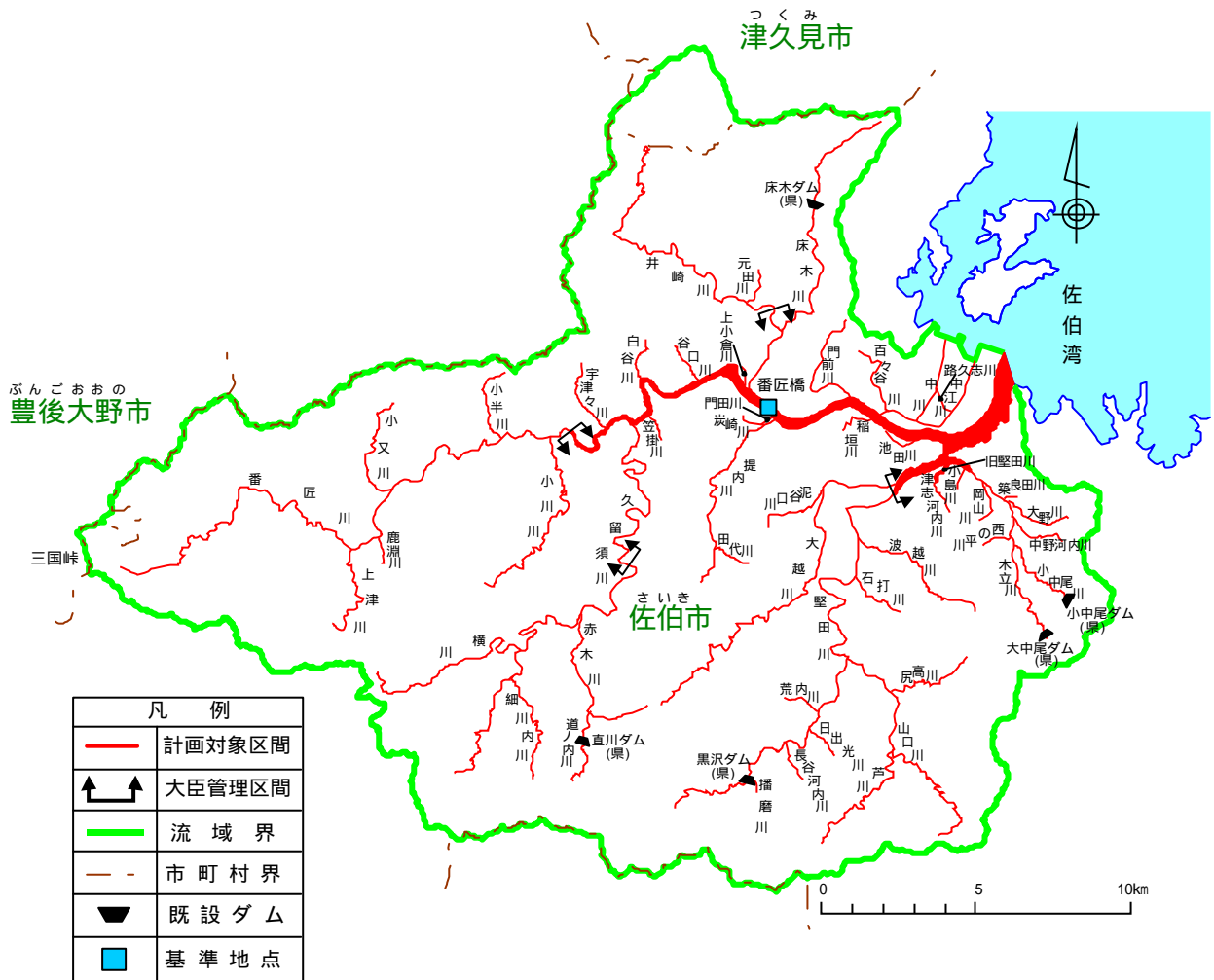


図3.2.1 番匠川水系整備計画対象区間

表3.2.1 河川整備計画対象区間（大臣管理区間）

河川名	上流端	下流端	区間延長 (km)
番匠川 ばんじょう	大分県佐伯市本匠大字波寄 おおいた さいき ほんじょう はき 字川平2860番地先の取水堰下流端 かわびら	海に至る	19.0
壱田川 かいたた	左岸：大分県佐伯市大字長良 うしろだ 字後田2077番地1地先 右岸：大分県佐伯市大字長良 わきのうち 字脇野内2470番地先	番匠川への合流点	2.5
井崎川 いさき	左岸：大分県佐伯市弥生 やおい 大字大坂本字小浪1216番地2地先 右岸：大分県佐伯市弥生 おおさかもと こなみ 大字大坂本字ケゴヤ2363番地1地先	番匠川への合流点	3.6
久留須川 くるす	大分県佐伯市直川大字上直見 なわか かなおみ 字沖ノツル1729番地1地先の国道橋下流端 おき	番匠川への合流点	8.7
河川計			33.8

表3.2.2 河川整備計画対象区間（大分県知事管理区間）

河川名	上流端	下流端	区間延長 (km)
番匠川	左岸 佐伯市本匠大字山部字カゲウラ 2160 番地先 右岸 佐伯市本匠大字山部字森 平 2149 番地先	佐伯市本匠大字波寄字川平 2860 番地先の取水堰下流端	18.9
堅田川	左岸 佐伯市大字青山字青山青山国有林第 18 林班地先 右岸 佐伯市大字青山字青山青山国有林第 23 林班地先	左岸 佐伯市大字長良 字後田 2077 番の 1 地先 右岸 佐伯市大字長良 字脇野内 2470 番地先	24.5
木立川	左岸 佐伯市大字木立字大中尾 2526 番地先 右岸 佐伯市大字木立字大中尾 2489 番地先	堅田川への合流点	7.5
小島川	佐伯市大字長良字鳥屋場新地 4393 番地先の市道橋	木立川への合流点	0.8
岡山川	左岸 佐伯市大字木立字岡山 123 番地先 右岸 佐伯市大字木立字岡山 129 番地先	〃	1.3
築良田川	セリゴ川の合流点	〃	0.4
大野川	佐伯市大字木立字大野 5187 番地先の県道橋（大野橋）	〃	3.0
中野河内川	左岸 佐伯市大字木立字宮河内 3860 番地先 右岸 佐伯市大字木立字宮河内 4008 番地先	〃	1.9
西の平川	左岸 佐伯市大字木立字波越奥 1171 番 1 地先 右岸 佐伯市大字木立字波越奥 1173 番地先	〃	1.5
小中尾川	左岸 佐伯市大字木立字小中尾 3007 番地先 右岸 佐伯市大字木立字小中尾 3008 番地先	〃	2.5
旧堅田川	佐伯市大字長良字外開 3320 番地先の上流端を示す標柱	堅田川への合流点	1.0
津志河内川	左岸 佐伯市大字長良字山田 3923 番 2 地先 右岸 佐伯市大字長良字清水 3928 番地先	旧堅田川への合流点	1.4
大越川	左岸 佐伯市大字長谷字仁藤治尾 745 番 4 地先 右岸 佐伯市大字長谷字平石 708 番 1 地先	堅田川への合流点	15.2
泥谷口川	左岸 佐伯市大字長谷字平岩 5210 番地先 右岸 佐伯市大字長谷字平岩 5220 番地先	大越川への合流点	2.0
波越川	佐伯市大字堅田字押河内 4533 番地先	堅田川への合流点	4.5
石打川	左岸 佐伯市大字堅田字石打 1825 番 2 地先 右岸 佐伯市大字堅田字石打 1918 番地先	〃	2.3
山口川	左岸 佐伯市大字青山字平岩原 1560 番 3 地先 右岸 佐伯市大字青山字エビネ口 496 番 1 地先	堅田川への合流点	9.7
尻嵩川	左岸 佐伯市大字堅田字尻高山 4537 番 2 地先 右岸 佐伯市大字堅田字尻高山 4537 番 4 地先	山口川への合流点	2.8

表3.2.3 河川整備計画対象区間（大分県知事管理区間）

河川名	上流端	下流端	区間延長 (km)
あし川	左岸 佐伯市大字青山字シヨノ原 1575 番 1 地先 右岸 佐伯市大字青山字シヨノ原 1574 番地先	〃	3.7
あらうち川	左岸 佐伯市大字青山字 ^{あらうちおく} 荒内奥 3148 番 1 地先 右岸 佐伯市大字青山字荒内奥 3148 番 10 地先	堅田川への合流点	1.3
ひでこ川	左岸 佐伯市大字青山字 ^{ひでみつ} 日出光 2948 番 4 地先 右岸 佐伯市大字青山字日出光 2949 番 4 地先	〃	1.5
はせがわうち川	佐伯市大字青山字 ^{はせがわうち} 長谷河内 3010 番 2 地先	〃	1.7
はりま播磨川	左岸 佐伯市大字青山字青山青山国有林第 26 林班地先 右岸 佐伯市大字青山字青山青山国有林第 29 林班地先	〃	3.0
いけだ池田川	左岸 佐伯市大字池田字 ^{いけだ} スタレ 541 番地先 右岸 佐伯市大字池田字スタレ 520 番地先	番匠川への合流点	1.3
なかえ中江川	番匠川からの分派点	海に至る	4.7
ももたに百々谷川	左岸 佐伯市大字 ^{つるみ} 鶴望字オジ丸 3290 番地先 右岸 佐伯市大字鶴望字オジ丸 2904 番地先	中江川への合流点	2.8
なか中川	中江川からの分派点	海に至る	2.8
ろくし路久志川	中江川からの分派点	中川への合流点	0.7
いなぎ稲垣川	左岸 佐伯市大字 ^{いなぎ やまのかみ} 稲垣字山ノ神 1199 番地先 右岸 佐伯市大字稲垣字山ノ神 1205 番地先	番匠川への合流点	1.3
もんぜん門前川	左岸 佐伯市大字 ^{かみおが かわち} 上岡字河内 3956 番地先 右岸 佐伯市大字上岡字河内 2904 番地先	〃	4.6
ひきぎうち提内川	佐伯市 ^{やよい} 弥生大字 ^{ひきぎうち おおうち} 提内字大内 782 番地先	〃	4.5
すみさき炭崎川	佐伯市弥生大字 ^{かんた まゆみ} 門田字真弓 1507 番地先の町道橋下流橋	提内川への合流点	0.8
かんた門田川	炭崎川からの分派点	番匠川への合流点	0.4
たしろ田代川	左岸 佐伯市弥生大字 ^{たしろ} 提内字田代 630 番地先 右岸 佐伯市弥生大字提内字田代 639 番 1 地先	提内川への合流点	1.3
いさき井崎川	左岸 佐伯市弥生大字 ^{しゃくま たに} 尺間字カズラ谷 1989 番 1 地先 右岸 佐伯市弥生大字尺間字カズラ谷 1990 番地先	左岸 佐伯市弥生大字 ^{おおさかもと} 大坂本 字 ^{こなみ} 小浪 1216 番の 2 地先 右岸 佐伯市弥生大字大坂本字 ^{はこや} 稽古屋 2363 番の 1 地先	15.5
ゆかぎ床木川	佐伯市弥生大字 ^{ゆかぎ たけ かわち} 床木字竹の河内 1982 番地先	井崎川への合流点	13.6

表 3.2.4 河川整備計画対象区間（大分県知事管理区間）

河川名	上流端	下流端	区間延長 (km)
もとだ 元田川	左岸 佐伯市弥生大字大坂本字セイハクチ 1955 番地先 右岸 佐伯市弥生大字大坂本字元田 ^{もとだ} 1954 番地先	井崎川への合流点	1.5
かみおぐら 上小倉川	佐伯市弥生大字 ^{かみおぐら} 上小倉 ^{そめや} 字染矢1129 番 4 地先の県道橋下流 端	番匠川への合流点	0.7
たにくち 谷口川	左岸 佐伯市本 ^{ほんじょう} 匠 ^{かざと} 大字風戸字椎ヶ谷 ^{しいがたに} 153 番地先 右岸 佐伯市本匠大字風戸字板ヶ平 ^{いたがひら} 158 番 1 地先	〃	2.2
しらたに 白谷川	左岸 佐伯市本匠大字風戸字黒ニタ 673 番地先 右岸 佐伯市本匠大字風戸字ジャレ 681 番地先	〃	1.5
かすがけ 笠掛川	左岸 佐伯市本匠大字笠 ^{かすがけ} 掛 ^{あくのかわち} 字奥河内 470 番地先 右岸 佐伯市本匠大字笠掛字奥河内 514 番地先	〃	1.2
くるす 久留須川	佐伯市直川 ^{なおかわ} 大字仁田原 ^{にたばら} 字小向 ^{こむかい} 2772 番 1 地先	大分県佐伯市直川 ^{かみなおみ} 大字上直見 字沖ノツル 1729 番地の 1 地先 の国道橋下流端	13.9
あかぎ 赤木川	佐伯市直川 ^{あかぎ} 大字赤木 ^{かわち} 字ユフ河内1859 番地先	久留須川への合流点	5.1
みちのうち 道ノ内川	左岸 佐伯市直川大字赤木字マカヤバル 1498 番 8 地先 右岸 佐伯市直川大字赤木字洗出 ^{あらいで} 1504 番 3 地先	赤木川への合流点	3.0
よこ 横川	左岸 佐伯市直川大字横 ^{よこがわ} 川 ^{かみいとり} 字上井取2972 番地先 右岸 佐伯市直川大字横川字上井取 3031 番地先	久留須川への合流点	7.2
ほそかわち 細川内川	左岸 佐伯市直川大字仁田原字ウド平 1540 番地先 右岸 佐伯市直川大字仁田原 ^{いでいだい} 字出井平 1525 番地先	〃	4.5
うつつ 宇津々川	左岸 佐伯市本匠大字宇津々 ^{うつつ} 字山ノ神 ^{やま} ヶ ^{かみ} 迫 ^{きこ} 1020 番地先 右岸 佐伯市本匠大字宇津々字テラヤシキ 1022 番地先	番匠川への合流点	3.0
おがわ 小川川	左岸 佐伯市本匠大字小 ^{おがわ} 川 ^{もと} 字グミノ本1617 番地先 右岸 佐伯市本匠大字小川 ^{かわにた} 字川仁田1622 番地先	〃	6.2
おながら 小半川	佐伯市本匠大字小半 ^{おながら} 字荒内 ^{あらうち} 920 番 2 地先	〃	2.0
おまた 小又川	左岸 佐伯市本匠大字因尾 ^{いんび} 字ムクルウジ 1633 番地先 右岸 佐伯市本匠大字因尾字トドロク 1577 番地先	〃	3.5
かぶち 鹿淵川	左岸 佐伯市本匠大字堂ノ間 ^{どうのま} 字タカトリ 1568 番地先 右岸 佐伯市本匠大字堂ノ間字タカトリ 1538 番地先	〃	1.2
こうず 上津川	左岸 佐伯市本匠大字上津 ^{こうず} 川 ^{ながい} 字長岩 ^{ながい} 638 番地先 右岸 佐伯市本匠大字上津川 ^{つかさき} 字塚草木638 番 4 地先	〃	4.1

3.3 河川整備計画の対象期間

本計画の対象期間は概ね20～30年とします。

なお、本計画は、現時点の流域の社会経済情勢・自然環境状況・河道状況等に基づき策定されたものであり、策定後のこれらの状況の変化や新たな知見・技術の進歩、災害の発生状況等により、必要に応じて適宜計画の見直しを行います。

3.4 洪水、高潮、地震・津波等による災害の発生防止又は

軽減に関する目標

3.4.1 洪水対策

洪水による災害の発生防止又は軽減に関する目標については、過去の水害発生状況やこれまでの整備状況を勘案し、大臣管理区間の番匠川本川および支川の堅田川、井崎川、久留須川においては流量観測が開始された昭和29年以降最大となった平成16年10月洪水並びに平成17年9月洪水と同規模の洪水に対し、家屋の浸水被害を防止することを本計画における目標とします。

大分県知事管理区間の支川堅田川・山口川・旧堅田川・津志河内川・稲垣川・久留須川については、県内指標による整備水準規模の治水安全度を確保するものとします。

さらに、既存の堤防については、洪水における浸透や侵食に対する所要の安全性を確保することとします。

なお、内水被害が発生する区域においては、土地利用状況、内水被害状況をふまえ内水対策を検討します。

対象となる地域の社会的経済的重要性や想定される被害の量質および過去の被害の履歴などの要素を考慮し、かつ上下流の河川との十分な整合性を保つように配慮した計画規模

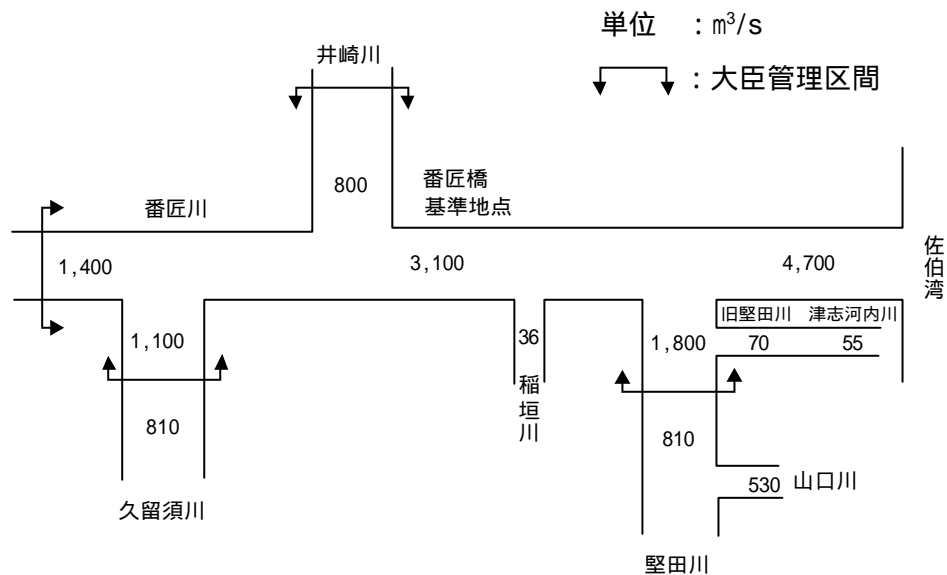
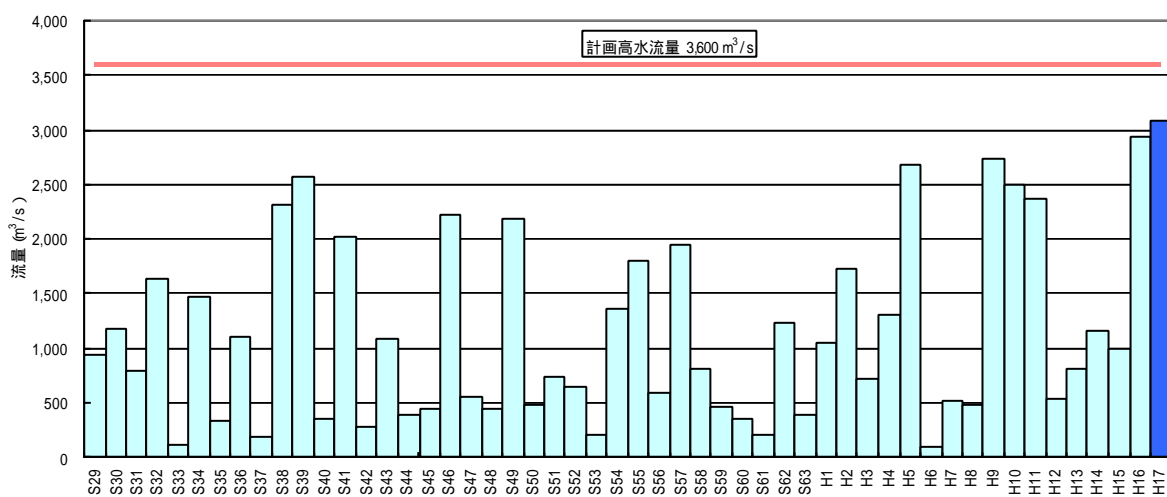


図3.4.1 整備目標流量配分図

表3.4.1 河川整備計画において目標とする流量

	河川名	目標流量	地点	備考
大臣 管 理 区 間	番匠川	3,100m ³ /s	番匠橋	戦後最大洪水のピーク流量に相当する規模
	堅田川	1,800m ³ /s	本川合流点	戦後最大洪水のピーク流量に相当する規模
	井崎川	800m ³ /s	本川合流点	戦後最大洪水のピーク流量に相当する規模
	久留須川	1,100m ³ /s	本川合流点	戦後最大洪水のピーク流量に相当する規模
大分県 知事 管 理 区 間	堅田川	810m ³ /s ¹	山口川合流後	県内指標による整備水準規模 ²
	山口川	530m ³ /s	堅田川合流点	県内指標による整備水準規模 ²
	旧堅田川	70m ³ /s	堅田川合流点	県内指標による整備水準規模 ²
	津志河内川	55m ³ /s	旧堅田川合流点	県内指標による整備水準規模 ²
	稲垣川	36m ³ /s	番匠川合流点	県内指標による整備水準規模 ²
	久留須川	810m ³ /s	直轄上流端	県内指標による整備水準規模 ²

- 1 堅田川の流量については、黒沢ダムの洪水調節効果量を考慮しています
- 2 対象となる地域の社会的経済的重要性や想定される被害の量質および過去の被害の履歴などの要素を考慮し、かつ上下流の河川との十分な整合性を保つように配慮した計画規模



- 1 流 years 表記載値
- 2 番匠橋地点の流量観測は、昭和29年より開始
- 3 平成16年及び17年の流量は、暫定値
- 4 平成15年、16年、17年は佐伯河川国道資料より

図3.4.2 番匠橋地点の年最大流量

3.4.2 高潮、地震、津波対策

河口部では、灘水位観測所(0/000付近)における観測最高水位である平成5年9月台風13号の最高潮位TP+2.03mなどにおいて高潮被害を受けたことから、高潮災害の再度発生を防止するため、計画高潮位TP+2.15mに対応する高潮堤防の整備に努めます。

また、地震発生により基礎地盤の液状化などが発生し堤防が沈下した場合に、浸水による二次被害等の防止・軽減に努めるとともに、津波対策の検討を進めます。

3.5 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標

河川水の利用に関しては、取水実態等の変化をふまえ、適正な水利使用の調整を行います。また、水質が概ね良好な水域については水質の維持を図ります。

渇水が発生した場合は、被害を最小限に抑えるため、渇水発生時の情報提供等の体制を確立するとともに、水利使用者相互間の水融通の円滑化に向けた取組みを関係機関及び水利使用者等と連携して推進します。

3.6 河川環境の整備と保全に関する目標

河川の空間の利用に関しては、自然との調和を考慮しつつ、環境教育の場など多様な利活用が推進されるよう、人々が親しめる河川空間の整備を目指します。また、貴重な水と緑のオープンスペースでもあり、利用等に当たっては地域社会からの多様なニーズに対し、地域住民・自治体等と連携を図りながら利用と保全の調和を目指します。

上流部では溪畔林など良好な溪流環境、中流部では河畔林や檜野地区に代表される多様な自然環境、下流部では河口部の砂州や干潟など、番匠川の豊かな自然環境の保全に努めます。また、市街部においては、周辺の都市景観、樹木、水辺等の景観特性を活かした河川景観の形成を目指します。